

Yamano
玉野圏版

電子版なら他の地域版も読める
山陽新聞デジタル
<http://www.sanyonews.jp>

身近なニュース、
会合、催しなど、
お知らせください。

玉野支社
玉野市宇野
1-12-20
TEL:0863-31-3434

小、中、高校生が地域貢献や課外活動、学習など自ら決めた目標に挑戦する「チャレンジカップ2017」で、玉野高校生徒会が審査員特別賞に選ばれた。挑んだのは「玉野生の笑顔達成率100%」。日頃の活動にちよっとした工夫と努力を加え、100%の目標には届かなかったものの、多くの生徒の笑顔を実現した。(正本和巳)

「笑顔100%」挑戦

**玉野高校生徒会
審査員特別賞**

チャレンジカップは一般社団法人日本チャレンジ教育振興会が、子どもたちの頑張る姿勢を応援しようという8年からの開催。半年の期間中、目標に対してどれだけ本気で挑戦し、成長できたかを基準に、教員やタレント、スポーツ選手らが審査する。今回は全国から2559組が応募。審査員特別賞は最優秀賞(8組)に次ぐ賞で、22組が選ばれた。

チャレンジカップ2017

玉野高校生徒会は、普段の活動に「笑顔100%」という目標を設定することで、より明るくい学校につながりたいと、初めて応募。会長だった3年直江隆さん(17)ら当時の執行部を中心に、16年9月から挑戦した。まず取り組んだのが、定期考査前の「あいさつ運動」。試験前の沈んだ気持ちを吹き飛ばそうと、各クラスの実行部員に協力

あいさつ運動、受験応援横断幕… 74%達成

を求め、登校する生徒に校門前で「おはようございます」と声を掛けた。「試験勉強後の早起きは大変だったけど、笑顔であいさつを返してくれたときは手応えを感じた」と直江さん。
2学期の終業式後には、生徒会行事としてフォークソング

「笑顔100%」を目指し、登校時のあいさつ運動の執行部メンバーら(2016年12月) (学校提供)



グ部とバトン部、ダンス部の合同ライブを挙げる。1月の大学入試センター試験に挑む3年生を応援する横断幕作りでは、1、2年生に積極的に参加を呼び掛け、たくさんのメッセージが横断幕を埋めた。
チャレンジ最終日の3月15日には、1、2年生約300人を対象にアンケートを実施。74%の生徒が「生徒会の活動で笑顔になった」と回答した。審査員は「前向きな目標設定で、アンケートによる検証が適切」と評価した。
生徒会は次回も参加する予定。内容はまだ決めていないが、副会長の3年河原千明さん(17)は「楽しく過ごせる学校づくりにつながる目標を設定し、実現することで最優秀賞を目指したい」と話している。